

申請する割当年度
令和 年度

関税割当申請書類チェックリスト (○○ × × × ×)

法人番号 : 1234567890123

申請者氏名（名称）：A株式会社

法人番号(13桁)、関税割当申請書の申請者名を記入する。

様式等	主な確認事項	チェック
割当年度の前々年度の消化率	関税割当証明書の交付 (受けた／受けていない) (1) 割当年度の前々年度に割当てられた数量 (2) (1)の割当数量のうち消化率計算から除外する返還期限までに返還した割当数量 (3) 割当年度の前々年度の関税割当証明書の通関数 (4) 割当年度の前々年度の消化率	1,000,000 0 1,000,000 10割
申請数量	(1) 輸入を希望するHSコード(9桁) (2) 割当年度にすでに関税割当を受けている数量 (3) 割当年度の関税割当証明書の通関数量の計(令和 年 月 日現在) (4) 提出期間における(1)の輸入計画数量 (5) 申請できる数量【(4) - (2) - (3)】	輸入する予定物品のHSコード(9桁)を記入する。 割当年度の初回申請時は、(2)と(3)は必ず「0」を記入する。
関税割当申請書 (別記様式第1)	(1) 提出部数(1通あるか) (2) 根拠法規(省令第1条となっているか) (3) 申請者住所(本店所在地となっているか。) (4) (○番地、○丁目○番○号などと記載されているか) (5) 代表者名(法人の場合は代表権を有する役員を役職名と共に記載しているか) (6) 電話番号(代表的な番号となっているか。) (7) 関税率表番号(9桁で記載さ (8) (HSコード9桁 (9) 品名(実行関税率表9桁の品 (10) 申請年月日(関税割当公表第 (11) (提出日となっているか (12) 申請数量(輸入計画数量以下となっているか) (13) (上限を超えていないか)	適 / 不適 適 / 不適
分割申請書(分割を希望する場合) (別記様式第3)	(希望する／希望しない) (1) 提出部数(1通あるか) (2) 根拠法規(省令第3条となっているか) (3) 代表者名(法人の場合は代表権を有する役員を役職名と共に記載しているか) (4) 電話番号(誤りはないか) (5) 申請年月日(関税割当公表第4の (6) (提出日となっているか) (7) 割当数量の分割の内容(合計と異なるか) (8) 分割の理由(理由は適切か)	分割を希望しない場合は、「希望しない」に○を付け、チェック欄のチェックは不要。
関税割当証明書の写しを提出するのは以下に該当する場合です。		
		■日EU・EPA、CPTPP、日米協定 ・割当年度の関税割当証明書を返納していない場合
		■その他のEPA ・第1回申請時:割当年度の前年度の関税割当証明書を使用中のため返納していない場合 ・第2回以降の申請時:割当年度の関税割当証明書を返納していない場合
関税割当証明書(別記様式第2)の返納	使用中／未返納／返納済／交付を受けていない 【使用中の場合】 (1) 関税割当証明書の写しの提出(1枚) (2) NACCS処理の場合(直近の内容照会情報は添付されているか) 【未返納の場合】 ※今後使用がなく、返納手続中又は近日返納予定のため返納していない場合。 (3) 返納枚数(枚) (4) NACCS処理の場合(終了処理がされているか) (5) (管理終了結果情報は添付されているか)	適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適
輸入通関(購入)実績及び計画(別添様式2) ※電子メール提出の場合はエクセルで提出すること	(1) 提出部数(1通) (2) 代表者の役職氏名 (3) 単位(関税割当) (4) 実績数量(根拠書類、関税割当申請書と整合性はあるか) (5) (合計欄など記入漏れはないか) (6) 計画数量(根拠書類と整合性はあるか) (7) (合計欄など記入漏れはないか)	「返納済」又は「交付を受けてない」の場合は、チェックは不要。 NACCS処理をしていない場合は、(2)、(4)及び(5)のチェックは不要。

様式等	主な確認事項	チェック
販売（使用）実績及び計画（別添様式3） ※電子メール提出の場合はエクセルで提出すること	<p>(1) 提出部数（1通あるか） (2) 代表者の役職氏名（法人の場合は代表権を有する役員を役職名と共に記載しているか） (3) 単位（関税割当申請書と合わせてあるか、不要な単位は抹消しているか） (4) 実績数量（根拠書類、別添様式2と整合性はあるか） (5) (合計欄など記入漏れはないか) (6) 計画数量（根拠書類と整合性はあるか） (7) (合計欄など記入漏れはないか)</p>	適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適
販売予定先の購入意思を証明する書類 (自社使用等の場合は割当対象物品の輸入を確認できる書類)	<p>【購入意思を証する書類】（※割当対象物品を輸入後販売する場合） 販売の場合は購入意思を証する書類、自社使用等の場合は輸入を確認できる書類の提出が必要です。 ただし、販売と使用どちらも計画がある場合には、両方ともに提出する必要があります。</p> <p>【割当対象物品の輸入を確認できる書類】（※自社使用等の場合） (1) 提出部数（各1通あるか） (2) 輸入期間（申請可能な期間となっているか） (3) 計画数量（申請書、別添様式2と整合性はあるか）</p>	適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適
商流図（別添様式4）	<p>(1) 提出部数（1通あるか） (2) 代表者の役職氏名（法人の場合は代表権を有する役員を役職名と共に記載しているか） (3) 手続き等の流れ（根拠書類、別添様式2及び別添様式3の整合性があるか） (4) 貨物名義人（相互関係は合っているか） (5) 場所（相互関係は合っているか）</p>	適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適
【法人の場合】 登記事項証明書の写し 【個人事業者の場合】 個人事業の開業・廃業等 届出書の写し	<p>(1) 目的欄又は概要欄の中から、割当対象物品の使用（口）口しくは輸入を行う事業者であることが確認できる項目をそのまま下の「□」内に転記すること 【例: 食料品の製造・販売及び輸出入】</p> <p>【割当年度の初回申請の場合（新規提出）】 (2) 提出部数（1通あるか） ※前年度提出済のものから変更がない場合であっても、割当年度の初回申請時には提出が必要。</p> <p>【提出しない場合：月申請時に提出済】 (3) 今年度に提出済の証明書から変更はないか</p>	適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適
【申請者（代表者）と異なる者が提出する場合】 ・社員証の写し又は委任状	<p>(1) 委任状の年月日は申請書の提出年月日以前となる月以内に作成されたものに限る。</p> <p>※以下の項目に該当する場合は、該当する項目の（□）□に付けること</p> <p>【自社が提出する場合であって、かつ、代表者以外の社員が提出する場合】（○） (2) 社員証の写し又は社員への委任状</p> <p>【行政書士又は行政書士法人に依頼する場合】（○） (3) 記載要領様式第3の委任状</p>	適 / 不適 適 / 不適 適 / 不適
関税割当申請チエックリスト（本表）、申請書の提出者	<p>(1) 提出部数（1通あるか） (2) 記載事項（記入漏れはないか） (3) 関税割当申請書の提出者（担当者）の連絡先【証明書送付先】 ※提出者（担当者）の連絡先と証明書送付先の宛名が異なる場合は、別途追記。</p> <p>郵便番号：XXX-XXXX 住所：○○県○○市○○×丁目X-X ×××ビルX階 会社名：○○株式会社 部署及び役職：○○○○部 氏名：××× ×× 電話番号：XX-XXXX-XXXX メールアドレス：XXXXXX@XXX.co.jp</p> <p>(4) 関税割当公表の内容を十分確認し、同意の上申請する</p>	適 / 不適 適 / 不適 同意/同意しない

注 本別添様式は両面印刷し、提出すること。

・数量は実数を記入する

・実数が小数点以下を含む数の場合は、小数点以下を表示する（「セルの書式設定」により表示桁数を変更。）。

輸入通関(購入)実績及び計画

- ・關税割当申請書(省令別記様式第1)による提出の場合、申請書に合わせた単位とする。
なお、農林水産省共通申請サービスによる提出の場合はこの限りではない。

・不要な単位を抹消する。

申請する
割当年度

輸入許可書の輸入取引者を記入する。 輸入許可書の輸入者を記入する。

輸入許可書の輸入者を記入する。

申請者氏名(名称) **A株式会社**

申 請 者 住 所 ○○県○○市○○×丁目X-X △△△ビルX階

代表者の役職 氏名 代表取締役 〇〇〇〇

(单位:~~米~~·km)

注:1 数量は2段書きとし、下段にはすべての〇〇××××の通関実績及び計画を記載する。また、上段()内に開税率を記載する。

輸入通関申込書とは申請者を輸入者として輸入通關手續を行った申込書と、購入申込書とは輸入者が輸入した当該物品を国内で購入した申込書とする。

輸入通関手続は午前8時と輸入8時として輸入通関手続と並行して行われる。輸入手続は午後5時と輸入8時と並行して行われる。輸入手続は午後5時と輸入8時と並行して行われる。

4 国内で〇〇××××を購入した(る)場合は、「輸入取引口」を「購入来客名」と読み音と、
5 販売(使用)料の欄には、「販売(使用)実績-料金(別途様式)」の計の数を記載する。

数値は実数を記載する。なお、実数が小数点以下を含む数である場合は、小数点以下を表示する（「セルの書式設定」に「表示小数数を変更」）。

効率は失敗を記載する。なお、失敗が「小数点以下を含む数」で記入する場合は、小数点以下を右端に記入する。開閉割合は、開閉割合に記載する単位は、左端の不要な単位は抹消する。

7 単位(トン・kg)は、関税割当申請書に記載する
8 行が不足する場合は、適宜追加する

8 行が不足する場合は、適宜追加する。
9 税番号に別書きをする

10 申請月以前の月は、実績を記載する。

・数量は実数を記入する。

- ・実数が小数点以下を含む数の場合は、小数点以下を表示する（「セルの書式設定」により表示桁数を変更。）。

販売(使用)実績及び計画

・関税割当申請書(省令別記様式第1)による提出の場合、申請書に合わせた単位とする。

なお、農林水産省共通申請サービスによる提出の場合はこの限りではない。

・不要な単位を抹消する。

申請する
割当年度

関税分類番号	年度	年度初め在庫	販売(使用)先		販売(使用)実績・計画												輸入通関(購入)計※注4	年度末在庫		
			名前	担当(部署・氏名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計			
XXXX-XX-XX	割当年度の前年度	-年度初め在庫数量を記入する。 ・自社名義の関税割当を使用して輸入した物品と使用しないで輸入した物品を区分していない場合は、上段()内に「-」を記入する。	○○ミックス	○○課△担当 ※自社使用の例	(0) 0	(50,000) 50,000	(0) 0	(50,000) 50,000	(100,000) 100,000	(100,000) 100,000	(100,000) 100,000	(0) 0	(0) 0	(100,000) 100,000	(150,000) 150,000	(100,000) 100,000	(750,000) 750,000	-申請者が輸入者として輸入通関した物品及び国内で購入した輸入物品を販売又は使用した実績を月別に記入する。 ・自社使用の場合は名称欄に商品名等を記入する。また、自社販売の場合は名称欄に店舗名を記入する。 ・上段()内には、自社名義の関税割当を使用して輸入した物品の販売(使用)実績を記入する(下段の内数)。 ・下段には、自社名義の関税割当を使用しないで輸入した物品及び国内で購入した輸入物品を含めたすべての販売(使用)実績を記入する。 ・自社名義の関税割当を使用して輸入した物品と使用しないで輸入した物品を区分していない場合は、上段()内に「-」を記入する。 ・記入漏れと区別するため、実績のない月は「0」を記入する。 ・「輸入通関(購入)実績・計画」(別添様式2)の計の数量を記入する。		
			株式会社D	○○課△担当 □□□□	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0				
			○○店	△担当 ※自社販売の例	(0) 0	(0) 0	(0) 50,000	(50,000) 50,000	(100,000) 100,000	(0) 0	(0) 50,000	(0) 0	(0) 0	(100,000) 100,000	(50,000) 50,000	(0) 0	(300,000) 300,000			
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
XXXX-XX-XX	割当年度	・輸入を希望する9桁コードを記入する。 ・計画を月別に記入する。 なお、申請日の属する月以前の月は実績を記入する。 ・前年度の年度末在庫数量と同数になります。	○○ミックス	○○課△担当 ※自社使用の例	(100,000) 100,000	(100,000) 100,000	(0) 0	(0) 0	(100,000) 100,000	(0) 0	(0) 0	(100,000) 100,000	(150,000) 150,000	(850,000) 850,000	同数量となる。 ・年度末の在庫数量が、次の計算で合っているか確認する。 年度初め在庫 + 輸入通関(購入)計 - 販売(使用)計 = 年度末在庫					
			株式会社D	○○課△担当 □□□□	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(20,000) 20,000							
			○○店	△担当 ※自社販売の例	(50,000) 50,000	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(100,000) 100,000	(50,000) 50,000	(0) 0	(0) 0	(50,000) 50,000	(100,000) 100,000	(0) 0	(350,000) 350,000				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				
					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0				

注:1 数量は2段書きとし、下段にはすべての〇〇××××の販売(使用)実績及び計画を記載する。また、上段()内に関税割当を使用した(する)輸入物品に関する販売(使用)実績及び計画を内数で記載する。

2 自社使用の場合の名称欄は商品名等を記載する。

3 自社販売の場合の名称欄は店舗名を記載する。

4 輸入通関(購入)計の欄には、「輸入通関(購入)実績・計画」(別添様式2)の計の数量を記載する。

54 数量は実数を記載する。なお、実数が小数点以下を含む数である場合は、小数点以下を表示する(「セルの書式設定」により表示桁数を変更。)。

数量は天数を記載する。なお、天数が小数点以下を含む記載する場合は、小数点以下を記載する単位(トン・kg)は、開港税割当申請書に記載する単位とし、右上の不要な単位は抹消する。

6 単位(トン・kg)は、関税割当申請書に記載する単位とし、右上の不必要な単位は抹消する。
7 行が不足する場合は、適宜追加する。

7 行が不足する場合は、適宜追加する。
8 税番ごとに別表とする

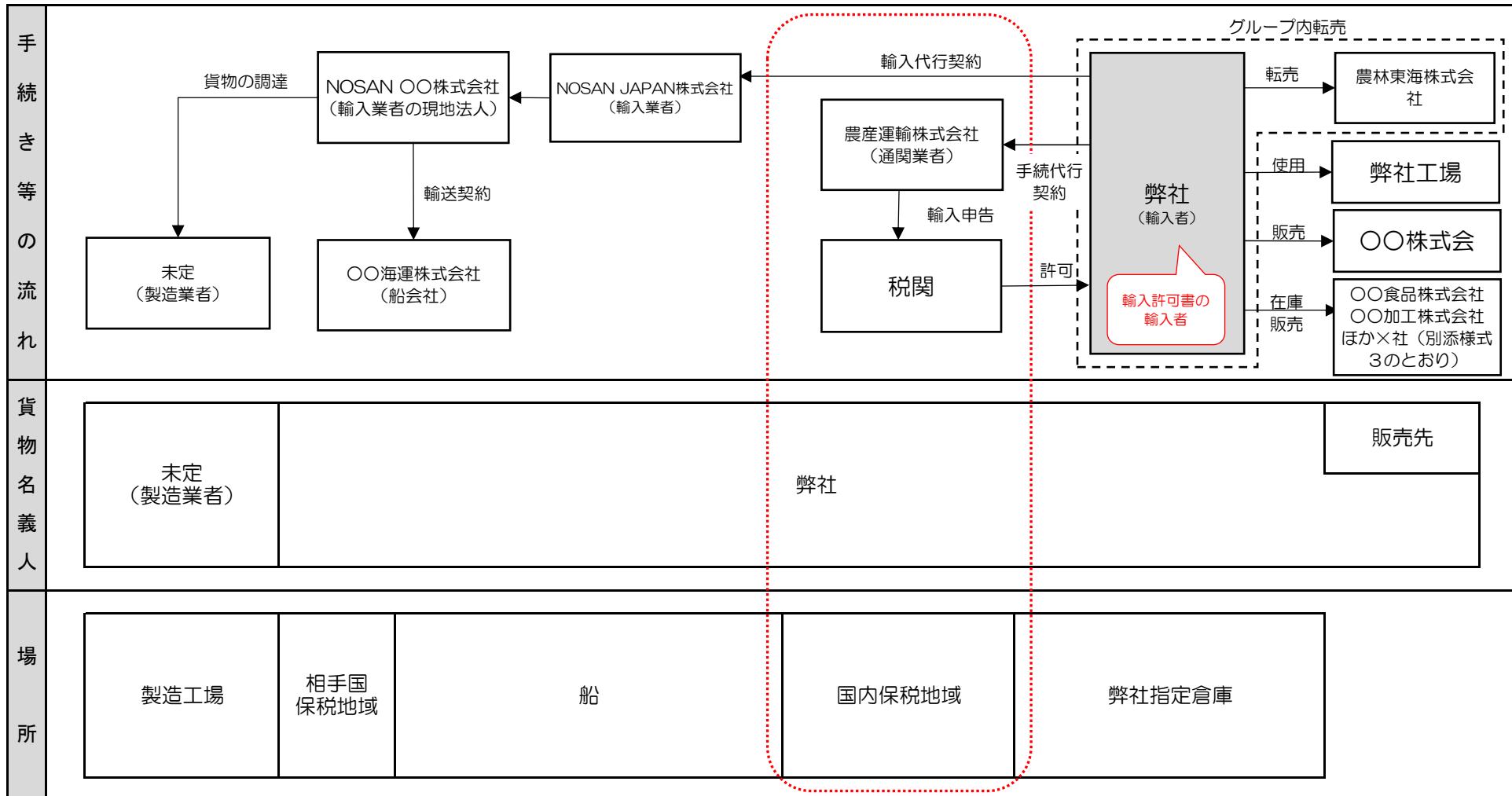
8 祝番ことに別葉とする。
9 由讀日以前の月は、寒

9 申請月以前の月は、実績を記載する

(別添様式4)

関税割当に係る商流図(※記載例)

申請者氏名(名称) A株式会社
申請者住所 ○○県○○市○○×丁目X-X △△△ビルX階
代表者の役職氏名 代表取締役 ○○ ○○



・数量は実数を記入する

- ・実数が小数点以下を含む数の場合は、小数点以下を表示する（「セルの書式設定」により表示桁数を変更。）。

報告する
割当年度

・輸入許可書の輸入取引者を記入する

注:1 数量は2段書きとし、下段にはすべての〇〇××××の輸入(購入)及び販売(使用)実績を記載する。また、上段(1)内に閑税割当を使用した輸入及び販売(使用)区分欄で購入を選択した場合は、輸入取引者を購入業者と読みかえる。また、上段(1)内は「-」を記載する。
2 3 自社で使用した場合は、販売先欄に「自社使用」と記載する。また、自社で販売した場合は、販売先欄に「自社販売」と記載する。
4 数量は実数を記載する。なお、実数が小数点以下を含む数の場合、小数点以下を表示する(「セルの書式設定」により表示桁数を変更。)
5 行が不足する場合は、適宜追加する。
6 税番ごとに別枠とする。
7 実績報告の期間は、年度末まで又は年度末を前に閑税割当を使用した物品の販売(使用)が終了した場合はその終了月分までとする。
8 申請時に提出した商流図(別添様式4)以外の商流により輸入及び販売した場合は、新たな商流について商流図(別添様式4)を作成し、併せて提出する。
9 報告方法は、エクセル形式とし、四半期ごとに各四半期翌月(7月、10月、1月、4月)の15日までに地域作業課(tariff_rapd@maff.go.jp)宛てメールで提出する。
10 ファイル名及びメール件名の付け方は、「各四半期・閑税割当公表番号+会社名」とする。なお、最終報告時にはそれぞれの名称の末尾に【最終】と付ける。
　　ファイル名の例:「25第1TRQ-JP7.〇〇株式会社」(2025年度第1四半期分提出のTRQ-JP7の場合)
　　メール件名の例:「[実績報告]25第1TRQ-JP7.〇〇株式会社」